

特集

放課後総合学習 ランドセルクラブ



ランドセルクラブとは…

ランドセルクラブは、学校、家庭、地域が、連携・共働し、地域ボランティアや公民館、コミュニティセンターで活動している人たち、力向上支援員や外国語指導助手（ALT）、中学生、市職員など市民総ぐるみで運営しています。

学校を核に「学校、家庭、地域が連携・共働し、地域の大人が子どもの学習・教育に関わることで、子どもと共に過ごし、共に学び、共に育つ」という共育を理念とした「学びの共同体」をつくることです。

平成28年9月から大野城市で始まった「放課後総合学習ランドセルクラブ」。

現在、ランドセルクラブは、大野北小、大野東小、月の浦小の3校で行われており、低学年クラス、中学年クラス、高学年クラス、特別支援クラスに分かれています。平成30年度まで3校で行われ、その後は順次拡大していく予定です。

ランドセルクラブでどのような活動が行われているか、月の浦小学校の中・高学年クラス取材しました。

内容は、前半、後半に分かれており、前半は、宿題・自主学習の時間、後半は、体験学習の時間になっています。

ランドセルクラブを取材した感想

として、授業が終わり、授業の復習や授業で出た宿題を学校で終わらせること、新たな知識に触れ、経験できることで、勉強（宿題）と遊び（体験）の両立ができていると感じました。特に、体験学習で最初はおっくうそうにしていた子どもも地域の人から教わりだすと真剣に、かつ楽しみながら体験しているところが印象的でした。

ランドセルクラブを通じて、学校の場合、子どもだけでなく、地域や保護者の交流の場となろうとしています。

前半（基礎基本学習）

（授業終了後～午後4時）

小学校の授業時間終了後、ランドセルクラブに参加する児童は、ランドセルクラブが行われる特別教室に集まり、開始の号令のあと、それぞれが自主学習を始めます。

保護者や地域の登録ボランティアが見守る中、中学年クラスは和気あいあいとした雰囲気、高学年クラスはみんな集中して、それぞれの宿題やドリルを行っていました。

～ランドセルクラブの目標～

- ◇生きるための基礎、基本的な生活力を育む
- ◇生きた知識と食生活の大切さ、生活に必要な知恵を育む
- ◇様々な社会的能力、社会に出るための社会性を育む
- ◇運動能力と器用さ、健やかに生きるための基礎体力を育む
- ◇国際感覚と文化意識、世界で活躍するための感覚を育む

